

令和7年度総合計画施策評価シート(令和6年度実施分)

基本姿勢1 安心で魅力ある「定住のしま」 ～分野1 安心して暮らし続けられるまちづくり～	
政策4 安全・安心で安定した水の供給	本文P34～35

基本方針	安全で良質な水の安定供給を図るとともに、サービス水準の向上と経営基盤の強化、計画的、効率的な整備と高水準化に努めます。
------	---

1-1-4-① 安全で良質な水の安定供給の推進	担当課	水道課
-------------------------	-----	-----

1. 基本施策(主要施策) 1次評価

これまでの取組	<p>○上水道事業として良質な水の安定供給に努めており、水道普及率はほぼ100%となっている。</p> <p>○水道施設の適正な維持管理、水質管理を行なうとともに安定供給する為の計画的な老朽施設の更新を図っている。また、健全な経営を図るため水道料金改定(令和2年10月分から実施、改定率29.1%)の条例改正を行った。</p> <p>○コロナ禍及び物価高騰による住民生活支援のため、国の臨時交付金を活用し、令和4年8月分(令和5年4月・5月分を除く)から水道料金の基本料金部分の2分の1減免を実施している。</p>
SDGsとの関係性	   <p>【選定理由】 水道事業は目標3,6,9の「すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する」として、住民の日常生活を支える基盤として、水源地の環境保全安全を通じて水質を良好に保ち、安全で清潔な水道水の供給に努めます。</p>
評価(問題点とその要因)	○人口減少による給水収益の減少、老朽水道管や老朽施設更新費の増加、民間委託推進拡大の限界など、離島の小規模水道事業者ゆえに効率化が図りづらく将来的な健全経営に不安が残る。
今後の取組方針	○独立採算を基本とする経営改善を図るため、計画的な施設統合推進や老朽施設更新等により給水コスト縮減に努め、併せて民間委託が可能な水道業務の検討を進める等、より一層の効率化を図りつつ、本町の特性を踏まえた水の安定的供給のあり方について検討を進めていく。

2-1. 重要業績評価指標(KPI)評価

※No. に☆印がついた目標はH30からの伸び幅を比較し達成率とする。

No.	指標名	指標の内容	単位	H30基準値	実績値の推移 上段:目標値/下段:実績値					達成率
					R2	R3	R4	R5	R6	
	有収率	(有収水量/総配水量)×100	%	73.2	78.8 78.3	81.5 77.8	84.4 76.6	87.2 72.7	90.0 75.4	13.1%
	《成果指標の進捗状況》				担当課	水道課				R2
	・達成状況 ⇒ <input type="checkbox"/> 実績が目標を達成した・上回った <input checked="" type="checkbox"/> 実績が目標を下回った									B
	①取組状況、結果、分析 ※実績が目標を下回った場合はその理由を必ず含めてください。									R3
1★	有収率は、常に夜間配水量を確認し、職員による漏水調査(夜間を含む)のほか、住民通報等による漏水事故の早急な現地調査、漏水調査業務委託などの漏水対策に取り組んでいるが、調査修繕後の新たな漏水発生等によりなかなか成果が現れない。									C
	・残された課題、KPI達成のため必要な取り組み									R4
	①課題									C
	町全体的に水道管の老朽化が進んでいることや、破損した水道管を修繕しても同じ管路の別の場所が再び破損したり、個人の給水管の埋設部分の漏水などが考えられるため、継続的に漏水対応に取り組む必要がある。									R5
	②必要な取り組み ※達成の場合はさらなる効果を生むための取り組みを記載									C
	夜間配水量を確認し、職員による漏水調査を行なうとともに漏水調査業務委託による漏水箇所の特定及び修繕を継続する。また、布設年度や漏水調査業務の結果を反映し、管路更新事業に取り組む。									R6
										C

2-2. 重要業績評価指標(KPI)評価

※No. に☆印がついた目標はH30からの伸び幅を比較し達成率とする。

No.	指標名	指標の内容	単位	H30 基準値	実績値の推移 上段:目標値/下段:実績値					達成率
					R2	R3	R4	R5	R6	
	料金回収率	(供給単価/給水原価) ×100	%	73.1	76.3 89.9	80.9 113.1	85.5 93.94	90.1 100.4	95.0 90.49	79.4%
2 ★	《成果指標の進捗状況》				担当課	水道課				R2
	・達成状況 ⇒ <input type="checkbox"/> 実績が目標を達成した・上回った <input checked="" type="checkbox"/> 実績が目標を下回った									A
	①取組状況、結果、分析 ※実績が目標を下回った場合はその理由を必ず含めてください。									R3
	供給単価(給水による収益)については、令和2年10月分から料金改定(改定率29.1%)を実施したが、前年度比をみると、給水収益△23,200,528円、有収水量△40,556m ³ となったため、前年度比△3.09%の250.32円となった。									A
	給水原価(給水にかかる費用)については、経常費用等が前年度比+26,021,462円となったため、前年度比+7.55%の276.62円となった。									R4
	※住民生活支援として水道料金の基本料金部分の2分の1を減免したが、減免分については、水道料金特別減免負担金として一般会計より措置があるため、これを含めた実質の料金回収率は110.17となり、達成率100%を超え、評価Aとなる。									A
	・残された課題、KPI達成のため必要な取り組み									R5
①課題									A	
将来的な人口減少が見込まれる中、供給単価を同じ水準で維持していくには料金改定を行うしかないが、住民生活に負担を強いるため慎重に検討する必要がある。また、給水原価を抑えるために維持経費や減価償却費をいかに圧縮できるかが課題である。									R6	
②必要な取り組み ※達成の場合はさらなる効果を生むための取り組みを記載									C	
料金改定に頼らない経営を行うために、既存施設の延命化・ダウンサイジング等により更新経費の縮減や、有収率の向上による動力費・薬品費の抑制などの維持経費を削減する取り組みをさらに進める必要がある。										

各年度の評価

2次評価委員会からの評価・意見等

引き続き、良質な水を安定的に供給するため、独立採算に向け経営基盤の強化、計画的・効率的な施設整備と高水準化に努めてください。人口減少が続いている中、更なるコスト縮減や有収率の向上を図り、生活に不可欠な水の供給を安全・安心に行えるよう事業を継続して行く必要がある。